

BOOK

図書館だより

●開館時間●
9:00 ~ 19:00

●5月の予定●

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

- 休館日
- おはなし会
- にこにこほっぺのおはなし会
- ひろたのみんなのおはなし会

砥部町立図書館
☎ (962) 4400

お知らせ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、閉館時間やおはなし会などの開催が変更になる場合があります。

新着紹介

『ひみつのしつもん』 岸本佐知子
『たおやかに輪をえがいて』 窪美澄
『銀の鯉亭の御挨拶』 小路幸也
『帝都地下迷宮』 中山七里
『綴る女 評伝・宮尾登美子』 林真理子
『卵とパンの組み立て方』 ナガタユイ



『まったく、青くない』
黒田小暑
小学館 刊

天性の歌声を持つ大学生のギンマと、彼の才能を信じて集まった同じ大学のランジ、サミン、ハル。1通の白い封筒をきっかけに、それぞれの秘密が明らかになり…。リアルな「青春」小説。



『だれでもできるベランダで野菜づくり』
麻生健洲
家の光協会 刊

すぐに食べられる「スピード野菜」、どっさり実がつく「すずなり野菜」、使いたいときにすぐ収穫できる「香味野菜&ハーブ」など、ベランダでできる野菜づくりをビジュアルで紹介する。



『日々を編んでいく』
安田成美
宝島社 刊

良い出来事がありがたいと思うように、嫌なことも自分のための新たなお題だと思つて受け取ろう。女優と子育て、家事を両立する安田成美が、毎日が心地よく、愛おしくなる、すてきな暮らしをつづったエッセイ集。

役者井上正夫

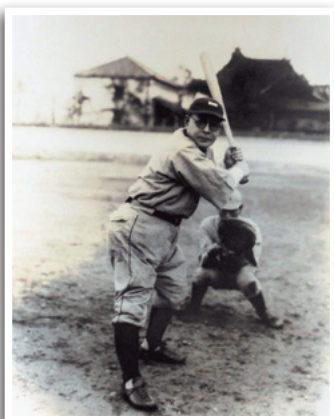
岡山社会教育課文化スポーツ係
☎ (962) 5952

井上正夫は幅広い趣味を持っていた、しかも凝り性でした。今回は趣味の一つであった野球について紹介します。

井上は、1925（大正14）年の映画「大地は微笑む」で青年役を演じるため、役作りとして野球観戦をし、野球に興味を持ち、自分でも始めるほどになりました。

1933（昭和8）年3月に、旧派（歌舞伎）俳優と井上の属する新派の俳優たちで野球の試合を行いました。アウンサーに榎本健一や柳家金語楼など喜劇俳優たちも参加し、大いににぎわったことが『新派名優喜多村緑郎日記』に書かれています。

また、下の野球図書簡は井上から真砂家に宛てられたもので、文面には「甲子園」「松山対育英」とあり、1935（昭和10）年の全国高校野球大会の決勝を楽しみにしていることが書かれています。地元愛媛の松山商業が優勝し



好球を待つ井上正夫



野球図書簡

た試合に、井上も熱中していたのでしよう。書簡の川柳には「郷土愛 今日もラジヲと首っ引」とあります。（学芸員 宮本直美）

俳句

砥部句会

入学の記憶桜の金釘ぼたん

分校は村の高台桜咲く

コロナウイルス避けてドライブ山桜

菜の花の黄のやさしけれ眩しけれ

カリフラワーけふも昨日も一昨日も

菜の花忌淡と生まれし雲一朶

春兆すよきことのある心地して

敷石は明治の煉瓦草萌ゆる

標準木ノギスで計る桜かな

犬ふぐり水の地球の水の色

並べ干す子供のシューズ風光る

春一番餃子の種を刻みをり

行き戻りしばし佇む桜かな

ニュース速報何かと見れば「桜咲く」

捨てきれぬものに故郷桜咲く

久に訪ふ古里の家土筆摘む

沙羅双樹光に満ちて春の寺

ポストまで行く道の辺の春いくつ

散歩道雀隠れも風に揺れ

渡部 洋三

大西 一教

佐々木美知恵

篠崎 伶子

長曾我部弓子

中塚 香代

中岡セツコ

長戸ふじ子

沼田 千寿

野村タカ子

廣末 榮子

福岡いつ子

福岡 繁平

松林 静子

宮田 弘道

宮内かよ子

向井 章子

向井 初子

森 安子

川柳

川柳とべ吟社

少し風私も鶴も飛べるはず

その日暮らし時に闇魔の影を見る

職人の誰にも負けぬ自負がある

チャレンジを辞めると石になる私

ぐらぐらの心で風船は割れぬ

悲しくて海はそんなに青いのか

冬の雨おんなは哀を深くする

松崎奈津栄

松崎 春子

石手 孝子

石井ひろみ

田中 貞美

斉藤美恵子

高畑 俊正

消費者カアップ通信

新型コロナウイルスに便乗した悪質商法に注意！

相談事例
心当たりのない送信元から「マスクを無料配布します。確認をお願いします。」と記載された怪しいメールがスマートフォンに届いた。

アドバイス

◆メールに記載されたURLを絶対に開かないでください。第三者に個人情報知られる可能性があります。
◆マスクなど、衛生用品の購入勧誘や義援金詐欺の電話にも注意しましょう。
◆おかしいと感じたら、すぐに警察か消費者相談窓口へ通報してください。

受付時間 8時30分～17時15分(毎週木曜日

と第3金曜日は、専門の相談員が対応)

☎ 相談窓口(商工観光課内) ☎ (962) 23367

消費者ホットライン ☎ 1888

町の文化財

麻生の棕の木(町指定天然記念物)



しめ飾りをして神木として地元の人たちにあがめられている。樹高11m、樹齢は不明だが500年以上ともいわれる。

もがし(町指定天然記念物)



八倉の集会所に所在し、樹高15m、樹齢は不明。根幹の間に馬頭観音の石仏が納められており、以前は出し入れできたようである。

☎ 町社会教育課文化スポーツ係 ☎ (962) 5952